

住民の理解と自らの行動につなげるための情報発信についてメディア機関と共有・連携

今年の出水期が終わり、今後本格的な冬季風浪シーズンをむかえるにあたり、住民へのより効果的な情報伝達を行うため、道路に関する雪害対策の説明会とあわせて、第2回地域メディア連携協議会を開催しました。

金沢地方気象台からは今後の気象の動向や現在頻発する能登地方の地震活動についての情報提供、金沢河川国道事務所からは石川海岸における冬季風浪時の水防活動等の取り組みや情報取得方法について説明、石川県からは能登内浦海岸の水防警報について情報提供を行いました。



第2回 地域メディア連携協議会の概要

- 日時 令和3年11月30日(火) 13:00～14:00
- 場所 金沢河川国道事務所 2F会議室(Web会議併用)
- 参加団体 【行政機関】
金沢河川国道事務所(事務局)
石川県、金沢地方気象台
【メディア機関】
NHK、北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢
北陸朝日放送、金沢ケーブルテレビ
北國新聞社、北陸中日新聞社
朝日新聞社、毎日新聞社
- 議事次第 ・情報提供
(1)金沢地方気象台
(2)金沢河川国道事務所
・意見交換

各機関からの主な意見

- ・通行止めが伴う災害発生時は、現場まで報道機関が入り込むことができないため、現場でしか撮影できない写真等をスムーズに提供できるように検討して欲しい。
- ・「現地視察会」は良い取り組み。午後は夕方ニュースの準備があるため、午前中の方が参加しやすい。

